



田村プロジェクト



田村市 Tamura City

- ・ 福島県中央東寄りに位置
 - ・ 2005年に5町村が合併した新市
(滝根町・大越町・都路村・常葉町・船引町)
 - ・ 人口4.2万人、面積458km²
 - ・ 東京都心から2時間半
- ・ 少子高齢化や交通問題など中山間地域の典型的な課題を抱えている地域



UDCT

Urban Design Center Tamura

田村地域デザインセンター



田村地域デザインセンターUDCT Urban Design Center Tamura

- ・ 公民学連携
- ・ まちづくりを研究・実践する地域密着型シンクタンク
- ・ 情報発信・市民交流の場

公

田村市
田村市行政区町会
福島県三春土木事務所
商工会
JAたむら

新しい
公共体

民

栄町商工振興会（船引）
菅谷を明るく元気にする会（滝根）

学

東京大学
日本大学郡山
福島大学

行政区単位での研究・実践

調査研究・まちづくり基本方針の策定



社会実験の実施・まちづくり基本計画の策定



地元継承・フォローアップ

	2007年 (H19)	2008年 (H20)	2009年 (H21)	2010年 (H22)
船引	調査研究 基本方針	▶ 社会実験	▶ 地元継承 フォローアップ	▶
滝根		調査研究 基本計画	▶ 社会実験	▶ 地元継承 フォローアップ
大越			調査研究 基本方針	▶ 社会実験
都路				▶ 調査研究 基本方針

昨年度の活動

都路地域

調査研究・基本方針



古代亀石



沿道の芝桜



陣場の松 (都路第二中学校跡)



直売所「気まま工房」



都路公民館
古道体育館
都路教育分館
都路の郷ふれあいセンター



都路行政局



天日鷲神社

国道 288 号

岩井沢

大槻

古道

都路中学校

古道小学校
古道幼稚園



行司ヶ滝



直売所「まんさくの花」



岩井沢小学校
岩井沢幼稚園



ふくしま薪商



吉田水産

グリーンパーク都路



地見城



ハム工房都路

大久保



都路診療所・都路歯科診療所



都路在宅介護支援センター
「まどか荘」



都路林業組合オガ工場



大久保小学校・大久保幼稚園跡地

国道 399 号



子安神社



おおたかどや山
標準電波送信所

0 1km 2km 3km





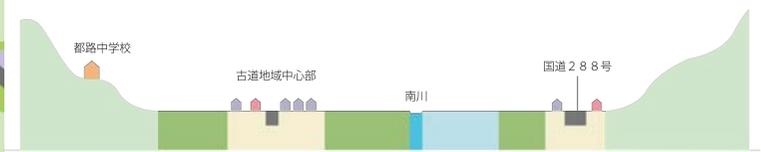
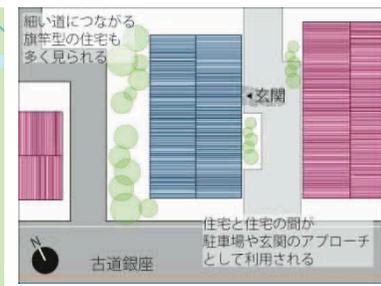
きれいに手入れされた沿道の植栽たち



宅地の裏手に広がる農地耕作放棄値も目立つ



いがらし商店さんにて扱う商品を見せていただく



都路地域 一集落調査一

- 主要集落を調査
- 住宅、商店、公共施設、畑、田、川などを地図にし空間の特性を把握
- 住宅の配置の特徴
- 断面構造



都路地域　ーヒアリング調査ー

1. 都路町商工会
2. ふくしま中央森林組合都路事務所
3. 竹炭工芸都美
4. (株)都路林産開発
5. JAたむら 都路支店
6. 都路まどか荘
7. 都路中学校生徒
8. 高校生徒
9. 男性高齢者
10. 女性高齢者
11. 農業・畜産家
12. 移住者
13. 移住者
14. 都路障がい者支援センター やまびこ



都路地域 ワークショップ

- 第1回 都路の強みと弱み
- 第2回 まちづくりアイデア
- 第3回 まちづくりアイデアを実践する空間と手法
- 第4回 学生のまちづくり提案についての議論
- 第5回 まちづくり提案の実施に向けてのスケジュール・協力体制

大越地域

社会実験



大越地域社会実験 ー民泊体験ー

・首都圏に住む学生、家族を大越の民家に泊め、農業体験、住民と交流をし、魅力の再発見を図る。

・受け入れ側 大越の家族7組

首都圏参加者 学生14人 家族2組



大越地域社会実験 一檜枝岐歌舞伎の上演一

- ・以前のように娯楽上を活用することで、価値を再認識し、今後の活用のきっかけに
- ・参加者は320人



大越地域社会実験 ーあるきあるき大会ー

- 歩きながら住民同士の交流を深める。また大越の魅力を再発見してもらうために、地域の大きなイベントとして実施。
- 参加者180名

UDCKo

Urban Design Center Koriyama

郡山アーバンデザインセンター

郊外の可能性

Revision of Suburbia

賞金総額
100万円
※入選点数・賞金は審査委員会の決定に従う。

都心再生が唱えられる一方、その外延には幹線道路を軸として様々な施設や活動が集積しています。こうした郊外のロードサイド型市街地は車依存や商業主義が目立つ反面、農地や緑地が混在し、都市と田園の両要素を楽しめる場所でもあります。

郡山アーバンデザインセンター(UDCKo)の拠点、郡山市並木地区も郡山駅から約2.5km、内環状線沿いの混合市街地です。この並木地区をケーススタディとして、郊外のこれからの可能性を考えるアイデアコンペを行います。建築や空間整備のようなハード、商業企画やライフスタイルのようなソフト、そのどちらでも、両方でも構いません。地区全体を提案しても、部分のデザインから地区への波及を狙っても構いません。奮って御応募ください。

優秀な提案は、実施に向けて検討していきます。

■コンペティション・スケジュール【2009】

- | | |
|--|---|
| 9月26日(土) 公募現地説明会
曾我部昌史・本田勝之助講演会
14:00~交流会
【会場：郡山 ラボット】 | 11月20日(金) 1次提案応募締切 |
| 10月16日(金) 質疑締切 | 11月下旬 1次審査会(要抽選考) |
| 10月30日(金) 質疑回答をホームページにて公表 | 12月4日(金) ホームページにて結果発表 |
| | 1月23日(土) 2次提案応募締切
プレゼン・公開最終審査・交流会 |

審査結果通知 2010年1月末日までに通知

- 主催 / 特定非営利活動法人 郡山アーバンデザインセンター [UDCKo]
- 提案対象地 / 並木地区の内環状線の通り(右図参照)の全体またはその部分 ■応募資格 / 不問 ■賞金 / 総額100万円 ※入選点数・賞金は審査委員会の決定に従う
- 審査委員 / 曾我部 昌史(建築家、神奈川大学教授、みかんぐみ共同主宰)・知野 泰明(景観工学、日本大学准教授)・本田 勝之助(地域プロデューサー、会津食のルネサンス代表取締役)・柳 沼 慎(並木町会長、UDCKo理事長)・北沢 猛(アーバンデザイナー、東京大学大学院教授、UDCKo理事)・宗像 剛(ラボット・プランナー代表取締役、UDCKo理事)

◎応募方法 / [1次提出] A3版1枚以内の用紙(横使い)に提案内容をレイアウトして下さい。[2次提出] A1版1枚以内の用紙(横使い)に提案内容をレイアウトして下さい。パワーポイントによるプレゼンテーション。

◎応募提出・お問合せ先 / 〒963-8026 福島県郡山市並木2-1-1(LABOTTO内) 郡山アーバンデザインセンター コンペティション係 宛 FAX: 024-991-8971 E-Mail: comp@udcko.jp

※当コンペは平成21年度国土交通省「住まい、まちづくり創い(手事業)」に採択されて実施します。

※質疑は、FAXまたはメールにてお願いします。 ※提出資料等は返却いたしません。必要な場合はあらかじめ複製してください。 ※コンペ関係の資料及び最新情報は、右記のHPよりご確認ください。 <http://www.udcko.jp>

※応募作品の著作権は提案者に帰属します。主催者は応募作品をホームページや出版物等へ公開することがあります。主催者は入賞作品の使用権を有しますが、その全部または一部を事業化商品化する場合、その提案者はその業務に関わる優先権を有します。それ以外の非入賞作品には、主催者に利用権はなく、事業化商品化は行いません。



UDCKoとは？

郡山アーバンデザインセンター (Urban Design Center Koriyama) は、福島県郡山市を中心とした郡山地域を対象として、都市デザイン・まちづくりを研究・実践するNPO法人です。その先導モデルとして、並木地区を対象にして具体的に取組みます。並木町会、並木の民間企業(ラボット・プランナー他)、東京大学(北沢猛教授)等を中心に、2008年11月に設立設立されました。今後、幅広く委員のネットワークを広げて、地方中核都市の新たな可能性を研究し、郡山地域の未来を「デザイン」していきます。

